

エルシーブイ FM 第 108 回放送番組審議会

1. 日時 2025 年 3 月 25 日 (火) 13 時 30 分から 14 時 30 分

2. 場所 諏訪市四賀 エルシーブイ株式会社 本社

3. 出席者 委員定数 6 名

出席委員 5 名

佐久 秀幸 委員長

宮坂 ちとせ 副委員

竹花 顕宏 委員

岩波 尚宏 委員

小池 征弥 委員

欠席委員

小平 茂徳 委員

放送事業者側 7 名

深井 賀博 代表取締役社長

大野 弘信 専務取締役

堀川 久志 放送制作部長

小池 利幸 放送制作部放送コミュニケーション課長

吉田 和晃 放送制作部コンテンツ課長

早川 達朗 放送制作部編成課長

中島 裕子 放送制作部放送コミュニケーション課

4. 議事次第

- ・「LCV-FM 2024 年度自主制作番組の実績等」について審議

5. 議事の概要

【審査番組】

2024 年度に制作したレギュラー番組 11 本と特別番組 5 本が対象

また、番組内における地域の方々が出演されたシーンを聴いていただいた

「LCV-FM 2024 年度自主制作番組の実績等」に関する主な意見としては

【地域の学生がラジオ番組に出演している様子を聞いて】

- ・ラジオに憧れている学生がいたり、ラジオ出演を経験できる場があってよい
- ・学生たちの純粋な想いが聞けてよかった
- ・子どもたちの未来に向けたコメントは清々しく聞けたし、諏訪に戻ってきてくれる可能性を感じた、郷土愛を育む番組になるかも
- ・地元らしい番組
- ・若者たちの言葉にジェネレーションギャップを感じながらも、新鮮に楽しく聞けた
- ・学生が主体となって作る番組があってもよい
- ・生徒や学生たちと、パーソナリティーの掛け合いが楽しかった
- ・学生たちの生の声は親世代だけでなく、中高年にとっても自分の頃と比較したりと楽しめる
- ・学生たちが出演する機会をもっと増やしたらどうか
- ・ふるさとに対しての想い、どんな街を望んでいるか聞いてほしい

【年間の番組全体を通して】

- ・人口減少の中で地域の活力を生み出すには「人と人のつながり」が大切だが、そのつながりをより大きく太くするのにコミュニティ FM の存在が大切なのでそのことを理解して番組を作ってほしい
- ・自分たちの企画が発信できる場があるのはよい
- ・出演したい人を集めるフォームがあるとよい
- ・パーソナリティーの個性があってよい
- ・誰もが情報を得ることができる、発信できる時代で、いい事をやっているだけでは伝わらないので広報・発信が大事、コミュニティ FM はそのツールとして利用してもらえるように
- ・地域にこのようなメディアがあって、地域の人々の発表の場となっていることは恵まれている、もっと活用してもらえるように地域と協力してみてもいい

以上、各委員から多数のご意見を頂きました。